



高石小学校だより

『 たくましい子・かしこい子・いよくのある子・やさしい子 』



2020.
7.17
NO.17.
文責：弘瀬

～ 通知表「あゆみ」について ～

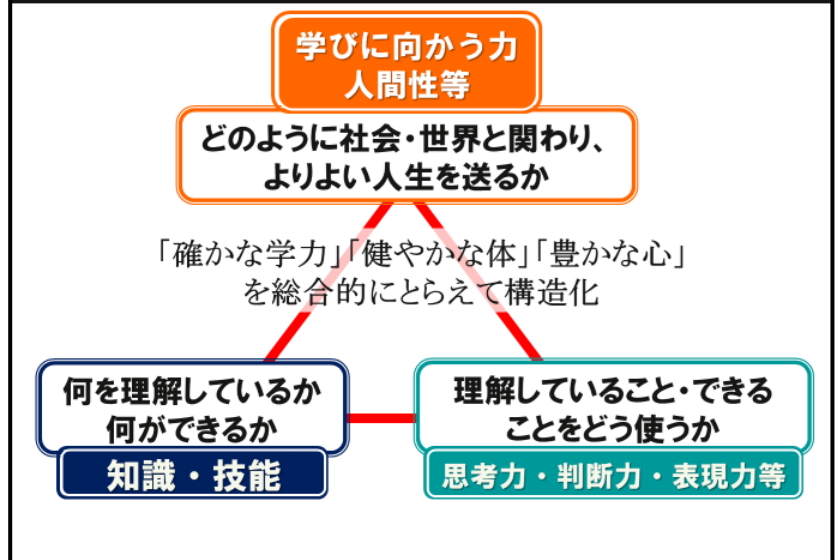
2020年度の今年から新学習指導要領が全面実施され、学習も「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業にかわってきています。新学習指導要領ではこれからの時代に求められる資質・能力を下の図のような3つの柱とし、各教科で「何ができるようになったか」「何が身についたか」を明らかにすることが求められています。

そこで、通知表の「あゆみ」の様式も今年度大きく変わります。

まず1つ目として、高知県全体で校務支援システムが導入され、パソコン入力で通知表を作成することになりました。

2つ目に各教科すべての評価項目が3つの柱に対応した評価になったため、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価するようになっています。

育成を目指す資質・能力の三つの柱



どのような様式でお渡しするかは別紙のお手紙でお知らせします。国語の評価を例にとると、下のようになっています。見ていただくとわかるように、3つの評価の観点の文章が少しわかりづらい文言になっています

2年 1学期		1番 児童名			
教科	観点	評価	よくできる	できる	もうすこし
国語	日常生活に必要な知識・技能を身に付けるとともに、言語文化に親しんだり理解したりしている				
	順序立てて考えたり創造したりし、思いを伝え合いながら自分の考えを持っている				
	言葉がもつよさや読書の楽しさを感じながら、言葉をよりよく使おうとしている				
	数量や図形などについての基礎的なことがらに関わる知識・技能を身に付けている				

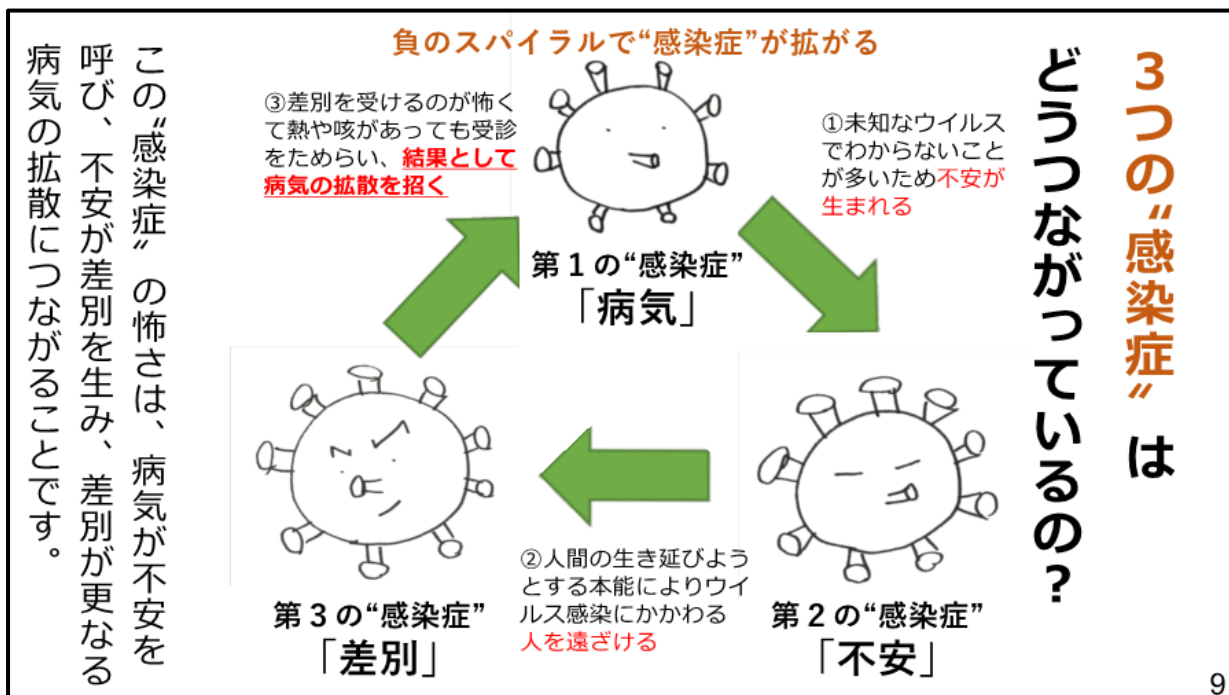
そこで、懇談会で保護者の皆様には「あゆみ」の見方についての文書を用意して説明いたします。ご不明な点は学校や担任へご質問ください。

返信 ()年()組 保護者名 ()

～新型コロナウイルス感染症に関連する

差別や偏見を防ぐために ～

全国で再び感染者が増えています。新しい生活様式にも慣れてきつつあり、県外との人の移動や経済活動も復活し始めたところでしたので、残念なところですが、しかし、まだまだ分からないところも多く、有効なワクチンもでていない中、不安になるのは誰もが同じです。その不安が差別を生み、差別がさらなる病気の拡散につながる可能性があります。下の図の資料をご覧ください。



【日本赤十字社（2020）より】

見えないウイルスへの不安から感染者、濃厚接触者や医療従事者等、その家族に対する差別や偏見は許されないことです。先日の高知新聞の記事にもありましたが、悪い情報ばかり目を向けないことと正しい情報を得ることが大事です。ネットやうわさ話などの差別的な言動に同調しないで、どこかで自分も感染する可能性もあると考え、3密や手洗い、マスク、ソーシャルディスタンス等に気をつけていきましょう。

～「秋まつり」をしよう ～

今年度夏まつりが出来なかったことから、6年生の実行委員会から学校で子どもだけの「秋まつり」をしようという提案がありました。各学年で話し合って20日（月）に代表委員会を行います。やる日は10月12日（月）の予定です。学級会では「何をするか」「安全にするためのくふう」などがしっかりと話し合われています。



5年 学級会 児童が司会・記録をしています。